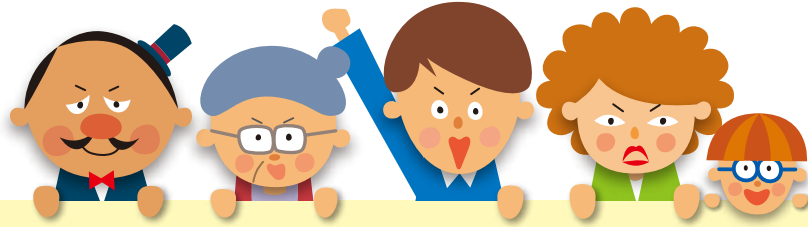


# あなたも私も 安心してくらせる社会へ



## 軍備の拡大ストップで社会保障は充実できます

F35戦闘機 147機購入費だけで

**1兆7,000億円**

地上配備型迎撃システム イージス・アショア

**1基 1,224億円**

在日米軍のための思いやり予算

**1,987億円** (2019年度政府予算案)

国保料を2~5割程度引き下げ(協会けんぽなみに)

**1兆円**

認可保育所の増設(定員90人)

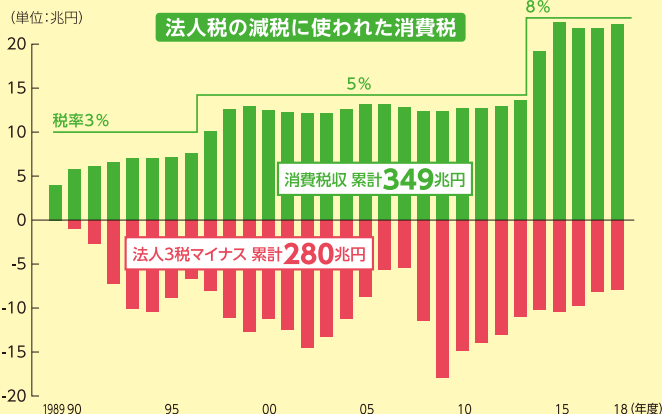
100カ所 **120億円**(国費負担)

小中学校等へのエアコン設置

計17万カ所 **817億円**(国費負担)

## 法人税減税の穴埋めに使われた消費税 社会保障「充実」はホントか!

## 大企業、富裕層の応分の負担で 23兆円の財源が生まれる



※不公平な税制を正す会試算  
※法人3税(法人税・法人住民税・法人事業税)は1989年度比で計算。全商連/バンフより。

### ■税制改正等による財源確保の見込み額

	(兆円)
大企業への優遇税制廃止	4.0
法人税引き下げを中止(除く中小企業)	2.0
株式配当の総合課税、富裕層への証券税制強化	1.2
所得税・住民税の最高税率を戻すなど	1.9
富裕税の創設、相続税の最高税率を戻す	1.1
被用者保険の上限引き上げ	2.2
為替取引税・環境税など	1.6
不要な大型公共工事・軍事費・原発推進の中止	3.0

以上の合計(当面の財源) **17.0**

将来的には「応能負担」の原則に立ち、所得税率を  
累進的に上乘せ

**6.0**

将来分を含めた合計 **23.0**

社会保障は改善の連続	消費税導入以前	2018年
消費税率	0%	<b>8%</b>
医療 サラリーマン本人の窓口負担	1割	<b>3割</b>
高齢者の窓口負担(外来)	定額(800円)	<b>1~3割</b>
年金 厚生年金の支給開始年齢	89年時 男性60歳 女性56歳	<b>65歳</b>
国民年金保険料(月額)	7,700円	<b>16,340円</b>

# お金の心配なく、国の責任で、安心してらせる社会へ 社会保障制度の拡充を求める請願

衆議院議長 様  
参議院議長 様

年 月 日

## 請願趣旨

政府は、2012年の社会保障制度改革推進法の成立以降、社会保障を家族相互、および住民間の助け合いの制度として国の責任をあいまいにし、社会保障費を抑制、制度を破壊し続けています。国民の中には生活不安が広がり、くらしはますます厳しくなっています。命を失う事例も報告されています。

格差と貧困の拡大は社会問題となり、それを助長する「不平等」な政策は直ちに中止すべきです。

国民の願いと要求は、社会保障制度の改善です。①患者、介護利用者の負担増計画をやめる、②高すぎる国保料(税)を下げ、短期保険証や資格証明書の発行をやめる、③不当な滞納差押え処分は行わない、④後期高齢者医療(75歳以上)の医療費窓口負担の二割負担化を行わない、⑤生活保護基準額の引き下げなど生活保護制度の改悪をやめる、⑥震災や水害等自然災害の被災者に対する支援策を抜本的に強める、などが求められています。

貧困を解消し、若者も高齢者もだれもが安心して生き続けられる社会とするために、最低保障年金制度、全国一律最低賃金制度を導入、拡充し、憲法25条に基づいて「すべての人が健康で文化的な生活を営む」ことができるよう社会保障制度の拡充をすべきです。そのために現在の不公平な税制を応能負担原則に正すことにより、税収の確保を求めます。

以上の趣旨に基づいて、以下の通り、請願いたします。

## 請願項目

- (1) 地域に必要な医療、介護、福祉、年金、障害、教育、子育て、生活保護、雇用等、いのち・くらしに直結する社会保障制度・体制を国の責任で拡充してください。
- (2) 不公平な税制を正し、防衛費や大型開発などの税金の使い方を見直して、社会保障予算を大幅に増額してください。

お名前	ご住所

\*お名前、ご住所などの個人情報は、国会への請願以外には一切使用しません。

■中央社会保障推進協議会 TEL.03-5808-5344  
■全国労働組合総連合 TEL.03-5842-5611  
■全日本民主医療機関連合会 TEL.03-5842-6451

取扱い団体